

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地					
松本情報工科専門学校		平成18年2月20日	今井 秀幸	〒 390-0875 (住所) 長野県松本市城西1丁目7番1号 (電話) 0263-33-8800					
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地					
学校法人未来学舎		昭和61年10月30日	青山 織人	〒 390-0841 (住所) 長野県松本市清2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500					
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度				
工業	工業専門課程	自動車整備科	平成19(2007)年度		平成27(2015)年度				
学科の目的	<p>本校は、学校教育法及び専修学校設置基準に基づき、工学を実践する技術者として、社会から期待される知識と技術を持ち、どのような職場でも歓迎される人格を兼ね備えた人材を育成することを目的としている。</p> <p>自動車整備学科では、現代の高度化した自動車に対応できる専門知識と専門技術の教育に加え、コミュニケーション能力の向上を図り、日本の基幹産業として経済的・環境的に大きな役割を持つ自動車業界において即戦力となる人材の教育・養成を目指している。さらに、以下の3つの学科目標掲げている。①自動車の基本的な構造や原理を理解した上で、先進的な機構に関する知識を身に付ける。②自動車の各装置について、安全で正確かつ効率的な整備の技能を習得する。③組織の中で継続して働くための心構えと態度を身に付け、コミュニケーション能力の向上を図る。</p>								
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	<p>取得可能な資格:二級自動車整備士(総合)/自由研削砥石/ガス溶接/アーク溶接/タイヤの空気充填/有機溶剤/電気自動車整備/中古車査定士/損害保険募集人 令和5年度中退率:0%</p>								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		2,265 単位時間	921 単位時間	単位時間	1,344 単位時間	単位時間	単位時間
				単位	単位	単位	単位	単位	単位
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)					
50人	25人	0人		0%					
就職等の状況	■卒業生数(C)		9人		人				
	■就職希望者数(D)		9人		人				
	■就職者数(E)		8人		人				
	■地元就職者数(F)		8人		人				
	■就職率(E/D)		89%		%				
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		100%		%				
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		89%		%				
	■進学者数		0人		人				
	■その他								
	(令和5年度卒業生に関する令和6年5月1日時点の情報)								
■主な就職先、業界等 (令和5年度卒業生) 自動車整備業界									
第三者による学校評価	<p>■民間の評価機関等から第三者評価: ※有る場合、例えば以下について任意記載</p> <p>評価団体: _____ 受審年月: _____</p> <p>評価結果を掲載したホームページURL _____</p>			無					
当該学科のホームページURL	<a href="http://www.mirai.ac.jp/mie/">http://www.mirai.ac.jp/mie/</a>								
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)								
	総授業時数		2,265 単位時間						
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		248 単位時間						
	うち企業等と連携した演習の授業時数		0 単位時間						
	うち必修授業時数		0 単位時間						
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間						
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		0 単位時間						
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		35 単位時間						
	(B: 単位数による算定)								
	総授業時数		単位						
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		単位							
うち企業等と連携した演習の授業時数		単位							
うち必修授業時数		単位							
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		単位							
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		単位							
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		単位							
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		5人						
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		0人						
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人						
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0人						
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		0人						
	計		5人						
上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		2人							

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

自動車整備分野における専門人材育成に必要な基礎から応用・実践までの一貫した教育を施すため、地域企業や外部団体からご意見をいただき、より実践的な教育課程を編成し授業内容を改善する。そのため、学校と業界機関や企業等が参画する教育課程編成委員会を設置する。委員会での協議事項について、教務部で検討した結果を以後の教育課程編成及び授業内容に反映することを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

名前	所属	任期	種別
中村 孝司	一般社団法人 長野県自動車整備振興会	令和4年10月1日～ 令和6年9月30日(2年)	①
赤羽 史彦	NTPトヨタ信州株式会社	令和5年10月1日～ 令和6年9月30日(1年)	③
河西 祐司	松本情報工科専門学校 自動車整備学科	—	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (11月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年10月25日 16:00～16:30

第2回 令和6年3月14日 16:00～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

地域住民を対象に行っている、冬前にスタッドレスタイヤに履き替えるイベントは、学生にとって非常に有意義な経験となるため、春にもノーマルタイヤに履き替えるイベントを実施したらどうかという意見を受け、令和5年度以降実施している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を密にし、最新の技術や実際の整備の現場に関する様々な情報を得て、就職後のイメージを明確にしながら職業訓練を行うことで、即戦力として現場に出ること及びミスマッチによる離職の減少を図る。また、それらの情報をもとに多様化する自動車業界の現状を正確に把握し今後の展望を持てる社会人を育成することを目指す。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

■ 鈑金・塗装実習

車体整備のうち鈑金及び塗装作業について、現役の鈑金・塗装作業従事者を講師として招き実習形式の授業を行う。経験によって培われた作業のコツや注意事項を実演を踏まえて指導し、評価・助言を行う。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
鈑金・塗装実習	鈑金およびパテの塗布と研磨による成形、下塗り塗装、上塗り塗装、表面仕上げについて学習する。	マルヤマオートサービスBloom
メーカー技術講習	自動車メーカーが持っている車作りのコンセプトをはじめ、独自の技術や新機構等について学習する。	日産自動車株式会社 いすゞ自動車株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係	
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教職員に対し、現在就いている職業又は将来就くことが予想される職業に関わる業務の遂行に必要な知識又は技能を修得させ、その遂行に必要な能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。 自動車整備学科においては、現代の高度化した自動車整備に必要とされる、実践的かつ専門的な能力を育成するために必要な知識、技術、技能などについて関係団体・職能団体及び企業等が実施する研修・セミナー・各種展示会等に教員を参加させる。さらに指導力の修得・向上等の研修にも参加させることを基本方針とする。	
(2) 研修等の実績	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: 整備主任者技術研修	連携企業等: (一社)長野県自動車整備振興会
期間: 令和5年6月16日	対象: 整備主任者
内容 各メーカーの新機構・新装置について、構造や整備作業上のポイント・注意点等	
研修名: 整備主任者法令研修	連携企業等: (一社)長野県自動車整備振興会
期間: 令和5年11月27日	対象: 整備主任者
内容 最近改正された関係法令・通達等の周知徹底、監査処分事例の報告と業務遂行上の注意点等	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: 未実施	連携企業等:
期間:	対象:
内容	
(3) 研修等の計画	
①専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: 整備主任者技術研修	連携企業等: (一社)長野県自動車整備振興会
期間: 未定	対象: 整備主任者
内容 各メーカーの新機構・新装置について、構造や整備作業上のポイント・注意点等	
研修名: 整備主任者法令研修	連携企業等: (一社)長野県自動車整備振興会
期間: 未定	対象: 整備主任者
内容 最近改正された関係法令・通達等の周知徹底、監査処分事例の報告と業務遂行上の注意点等	
②指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: 未定	連携企業等: 長野県専修学校各種学校連合会 中信支部
期間: 未定	対象: 教員
内容 未定	
4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係	
(1) 学校関係者評価の基本方針 学校関係者評価については、自己点検評価表を策定し、まず教職員がそれぞれの部署で自己評価を実施する。そこで作成された自己点検評価表の適正度を学校関係者評価委員会により点検・評価する。当該委員会の議論及び意見を基に作成した「学校関係者評価報告書」を学校長が再点検の上、次年度の学校運営に反映させる方針とする。	
(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・教育目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域活動
(11) 国際交流	特に記載なし
※(10)及び(11)については任意記載。	

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係評価委員会による点検・評価後、各評価項目について教務部において以下の点について評価結果を活用することとした。

①情報システム学科の学生募集が改善し、自動車整備学科の学生募集が低調だったので、主に自動車整備学科の募集について話題となった。募集についても企業と連携し、興味を持ってもらえるような広報活動を展開する。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
中村 孝司	一般社団法人 長野県自動車整備振興会 松本支所 支所長	令和4年10月1日～ 令和6年9月30日(2年)	企業等委員
赤羽 史彦	NTPトヨタ信州株式会社	令和5年10月1日～ 令和6年9月30日(1年)	企業等委員
中村 吉保	一般社団法人 信州オープンビジネスアイランス 理事	令和2年10月1日～ 令和4年9月30日(2年)	企業等委員
相澤 斉樹	アースシステム株式会社	令和2年10月1日～ 令和4年9月30日(2年)	企業等委員
東海林 正也	株式会社ホンダカーズ信州	令和4年10月1日～ 令和6年9月30日(2年)	卒業生 (同窓会長)

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mie> 【情報公開】ページ

公表時期: 令和6年7月1日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目に基づき、学校の概要、目標及び計画、各学科等の教育、教職員、キャリア教育・実践的職業教育、様々な教育活動・教育環境、学生の生活支援、学生納付金・修学支援、学校の財務、学校評価について、公益法人として関連団体・業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	なし
(11) その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mie> 【情報公開】ページ

公表時期: 令和6年7月1日

授業科目等の概要

(工業専門課程 自動車整備学科) 令和6年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			ガソリンエンジン構造	ガソリンエンジン本体、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置等の基本構造・機能	1前	42		○			○		○		
	○			基礎自動車工学	自動車に使われる材料、機械要素、燃料、潤滑材の種類と性質、製図	1前	34		○			○		○		
	○			エンジン整備	エンジン本体、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置等の整備要領	1後	30		○			○		○		
	○			シャシ整備	トランスミッション、緩衝装置、操舵装置、制動装置、タイヤ等の整備要領	1後	39		○			○		○		
	○			電装品整備	エンジン及びシャシに備えられる電装部品の整備要領	1後	23		○			○		○		
	○			整備機器	基礎整備作業、測定作業、点検作業、充電作業、給油作業等の用具・機器	1前	34		○			○		○		
	○			自動車検査	道路運送車両法、施行規則別表、保安基準、細則告示、整備士技能検定制度の概要	1後	25		○			○		○		
	○			工作作業	金属材料の切断、けがき、研削、穴あけ、ネジ立て、曲げ、焼き入れ等の加工作業	1前	25					○	○	○		
	○			基本計測	ノギス、ダイヤルゲージ、マイクロメータ等の計測器具を使用した正確な計測作業	1前	45					○	○	○		
	○			エンジン整備実習	エンジン本体、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置等の点検・整備作業	1通	175					○	○	○		
	○			シャシ整備実習	トランスミッション、緩衝装置、操舵装置、制動装置、タイヤ等の点検・整備作業	1通	287					○	○	○		
	○			電装整備実習	エンジン及びシャシに備えられる電装部品の点検・整備作業	1通	140					○	○	○		
	○			自動車検査作業	法定点検（日常点検・12ヶ月定期点検）、点検整備記録簿の記入	1後	28					○	○	○		
	○			資格取得・その他	自動車業界に関連する各種資格の取得及び就職指導、校内企業説明会等	1通	80		○			○		○		○
	○			ガソリンエンジン構造	ガソリンエンジン本体、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置等の構造・機能	2前	33		○			○		○		

20	○	ジーゼルエンジン構造	ジーゼルエンジン本体、潤滑装置、冷却装置、燃料装置、吸排気装置等の構造・機能	2前	25	○	○	○											
21	○	シャシ構造	トランスミッション、緩衝装置、操舵装置、制動装置、タイヤ等の構造・機能	2前	40	○	○	○											
22	○	電装品構造	電気の基礎的な原理・法則、エンジン及びシャシに備えられる電装部品の構造・機能	2前	35	○	○	○											
23	○	二輪自動車	二輪自動車のエンジン、シャシ、電装部品及び特有の装置の構造・機能	2前	20	○	○	○											
24	○	力学	圧力、走行性能、荷重割合、プラネタリギヤ、エンジン回転速度、力のモーメント	2前	20	○	○	○											
25	○	エンジン整備	電動ファン、各種センサ系統、イグニッションコイル系統、インジェクタ等の整備要領	2後	25	○	○	○											
26	○	シャシ整備	電子制御式AT、エアサスペンション、EPS、ABS、大型トラックのタイヤ等の整備要領	2後	26	○	○	○											
27	○	電装品整備	空気調和装置、警報装置、配線、安全装置及び付属装置等の整備要領	2後	17	○	○	○											
28	○	故障原因探究	故障診断の進め方、効率的な診断、問診、現象確認、原因の推定、再発の防止	2後	40	○	○	○											
29	○	法令	道路運送車両法、施行規則別表、保安基準、細則告示、整備士技能検定制度の詳細	2後	25	○	○	○											
30	○	エンジン整備実習	シリンダヘッド脱着作業、ロータリエンジン、ガソリンエンジンの電子制御装置等の点検・整備作業	2通	161		○	○	○										
31	○	シャシ整備実習	トランスミッション脱着作業、EPS、CVT、車体等の点検・整備作業、模型製作、塗装作業	2通	196		○	○	○	○									
32	○	電装整備実習	灯火装置、ウィンドレギュレータ、予熱装置、空気調和装置等の点検・整備作業、模型製作	2通	126		○	○	○										
33	○	総合実習(故障診断実習)	スキャンツールを活用した故障診断作業、钣金作業、インターンシップ	2通	133		○	○	○	○									
34	○	検査実習	24ヶ月定期点検、自動車検査、点検整備記録簿の記入	2後	28		○	○	○										
35	○	資格取得・その他	自動車業界に関連する各種資格の取得及び就職指導、二級整備士資格対策授業等	2通	168	○	○	○	○										
合計				35 科目					2265 単位時間										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件:	各科目の成績が可上であり、所定の出席時間数を満たしていること	1学年の学期区分	2期
履修方法:	必修科目 2265単位時間	1学期の授業期間	22週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。